様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月24日

さいたま市長　殿

提出者
住　所　埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-195-1
氏　名　旭化成ホームズ株式会社　住宅事業埼玉・北関東本部
技術部長　鏡 勇紀

電話番号　048-642-0185

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、2023 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社　埼玉北関東営業本部
事業場の所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-195-1 （さいたま市内現場）
事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙のとおり　t	全処理委託量	別紙のとおり　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり　t	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	認定熱回収業者への処理委託量	－　t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－　t

※事務処理欄

（日本工業規格　A列４番）

別紙

さいたま市

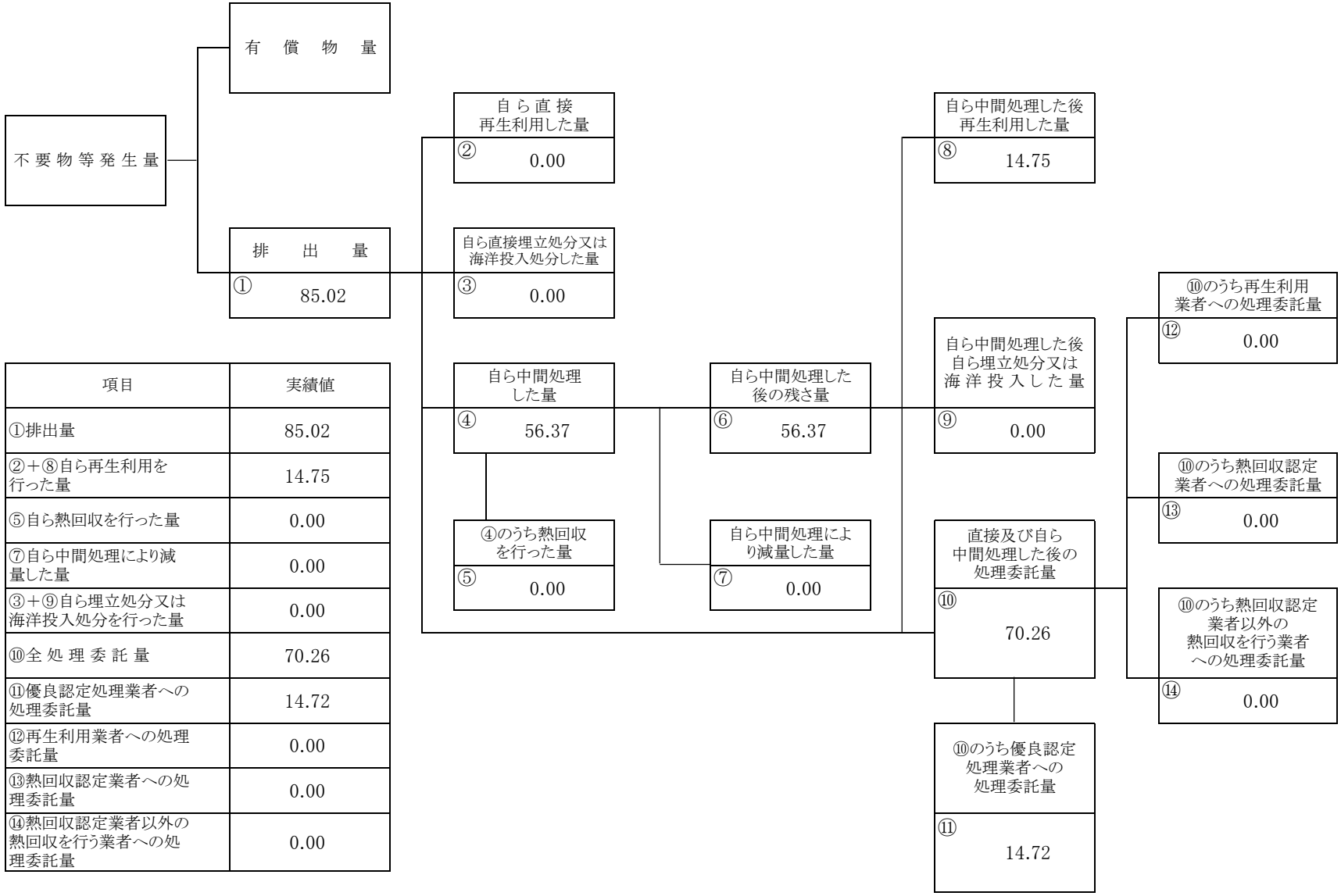
2023年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標の別 / 排出・処理の区分	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	木くず	紙くず	繊維くず	混合廃棄物	石綿	水銀	燃えがら	合計
	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）	目標(t)（2023年度）
①排出量	111.0	37.7	508.3	2,374.6	515.7	39.5	6.4	104.8	58.8	0.03	29.80	3,786.5
②+⑧自己再生利用量	36.9	12.6	－	－	－	38.5	－	－	－	－	－	88.0
⑤自己熱回収量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦自己中間処理減量化量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑨自己埋立処分又は海洋投入処分量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑩全処理委託量	74.1	25.1	508.3	2,374.6	515.7	1.0	6.4	104.8	58.8	0.03	29.75	3,698.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.3	16.4	149.7	758.3	299.0	0.9	6.2	92.4	58.8	0.03	－	1,404.0
⑫再生利用業者への処理委託量	－	22.6	－	862.4	165.9	0.1	－	－	－	－	－	1,050.9
⑬認定熱回収業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑭認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック類　）

さいたま市



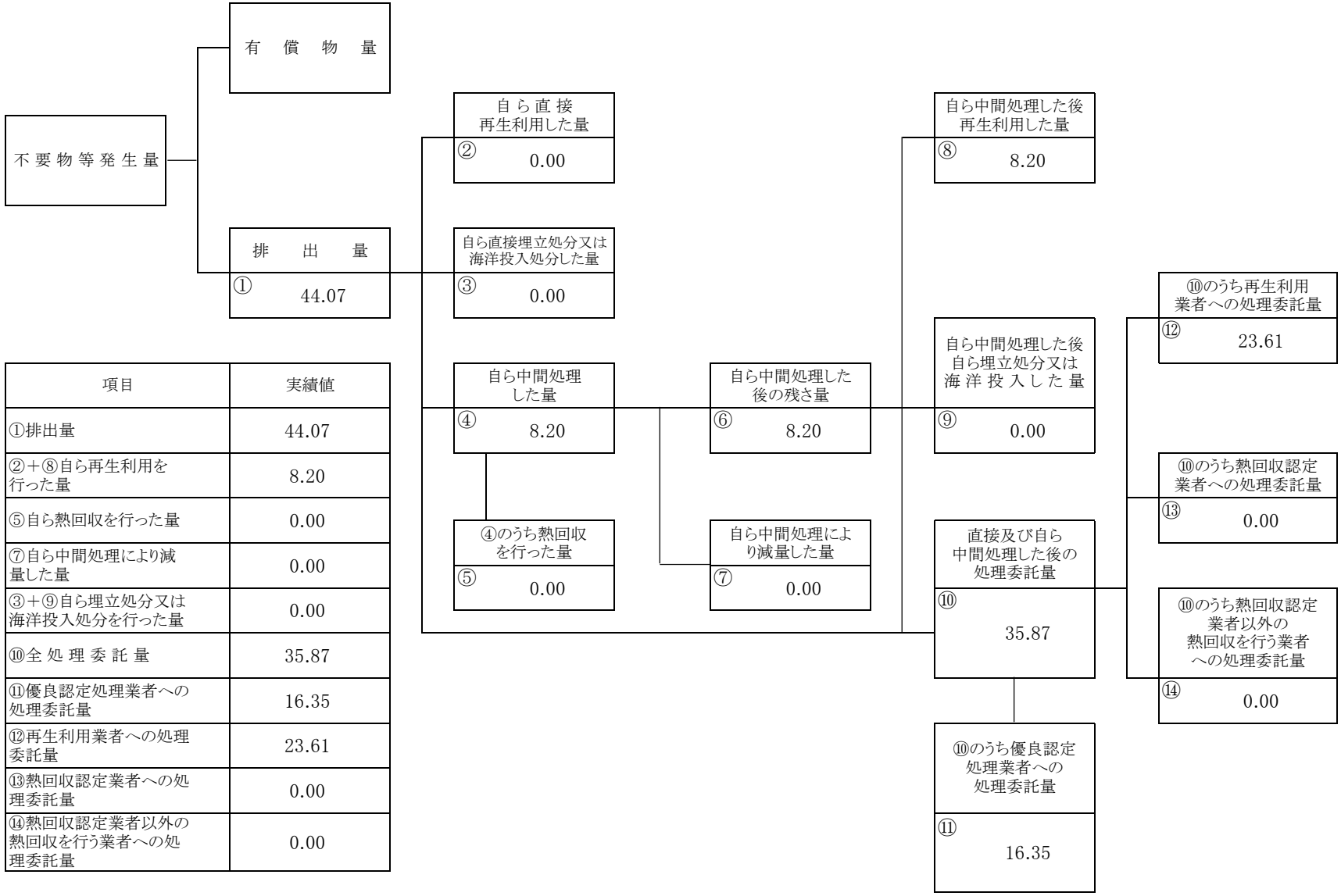
項目	実績値
①排出量	85.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	14.75
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	70.26
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.72
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　金属くず　）

さいたま市



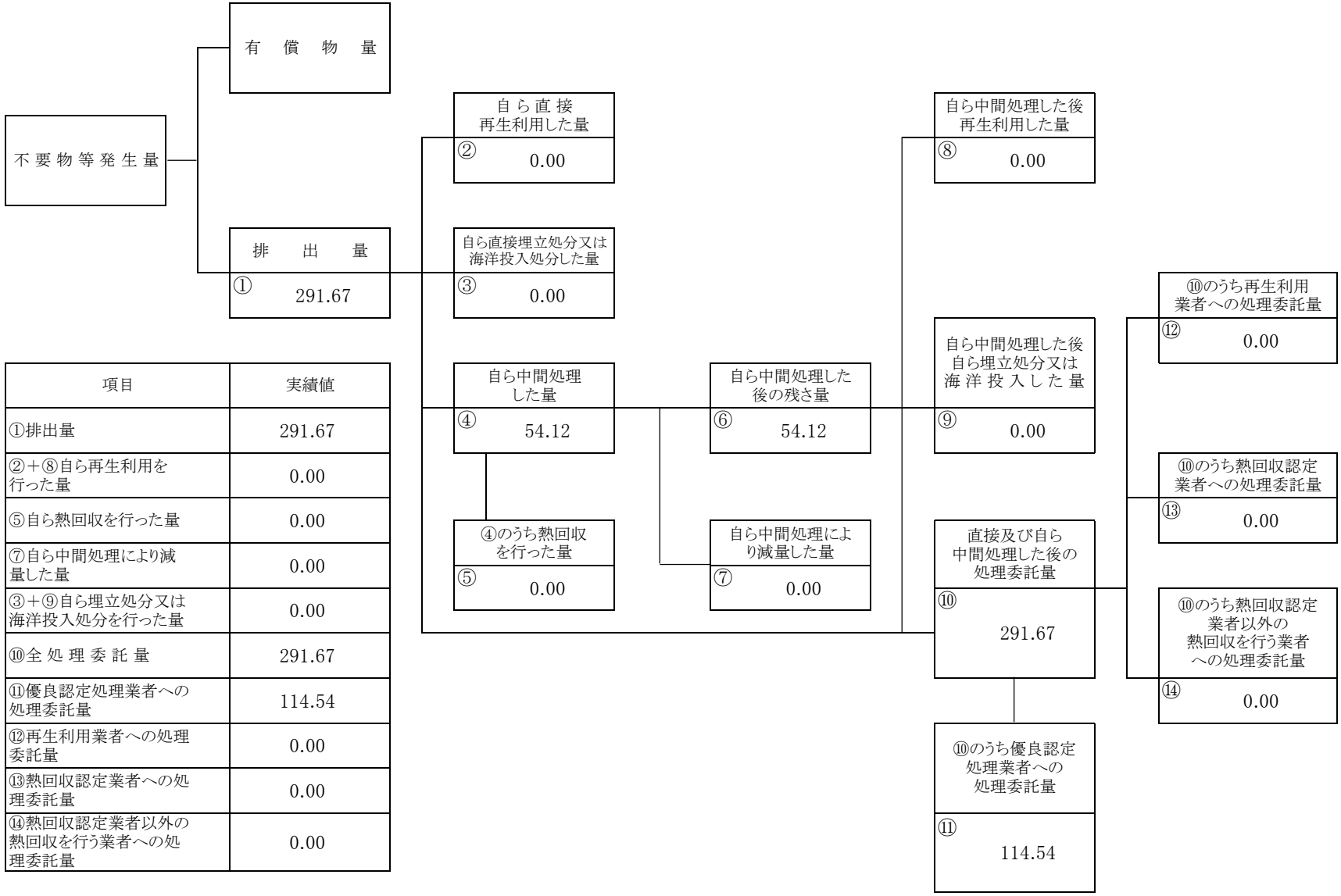
項目	実績値
①排出量	44.07
②＋⑧自ら再生利用を行った量	8.20
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	35.87
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.35
⑫再生利用業者への処理委託量	23.61
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ）

さいたま市



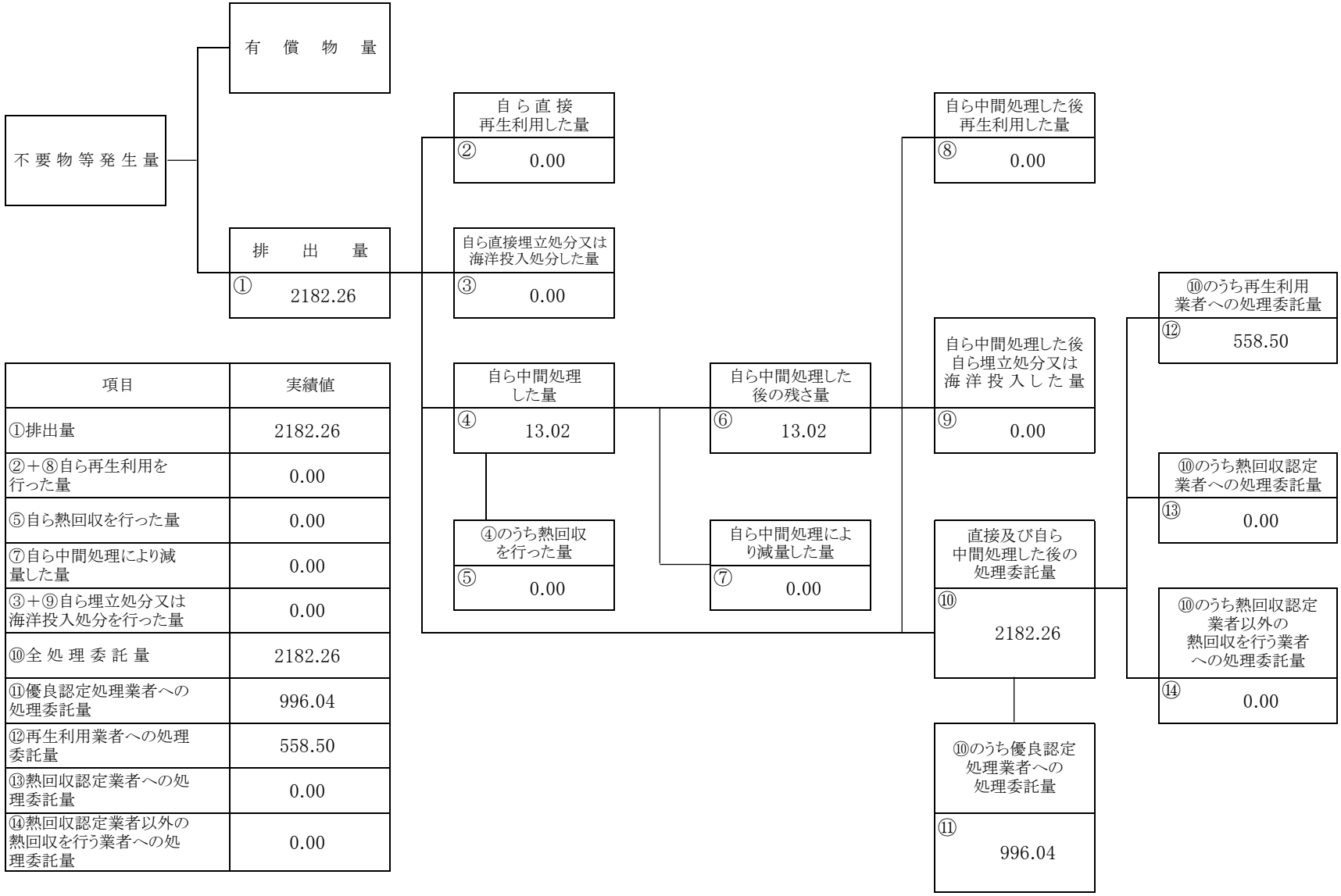
項目	実績値
①排出量	291.67
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	291.67
⑪優良認定処理業者への処理委託量	114.54
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物））

さいたま市



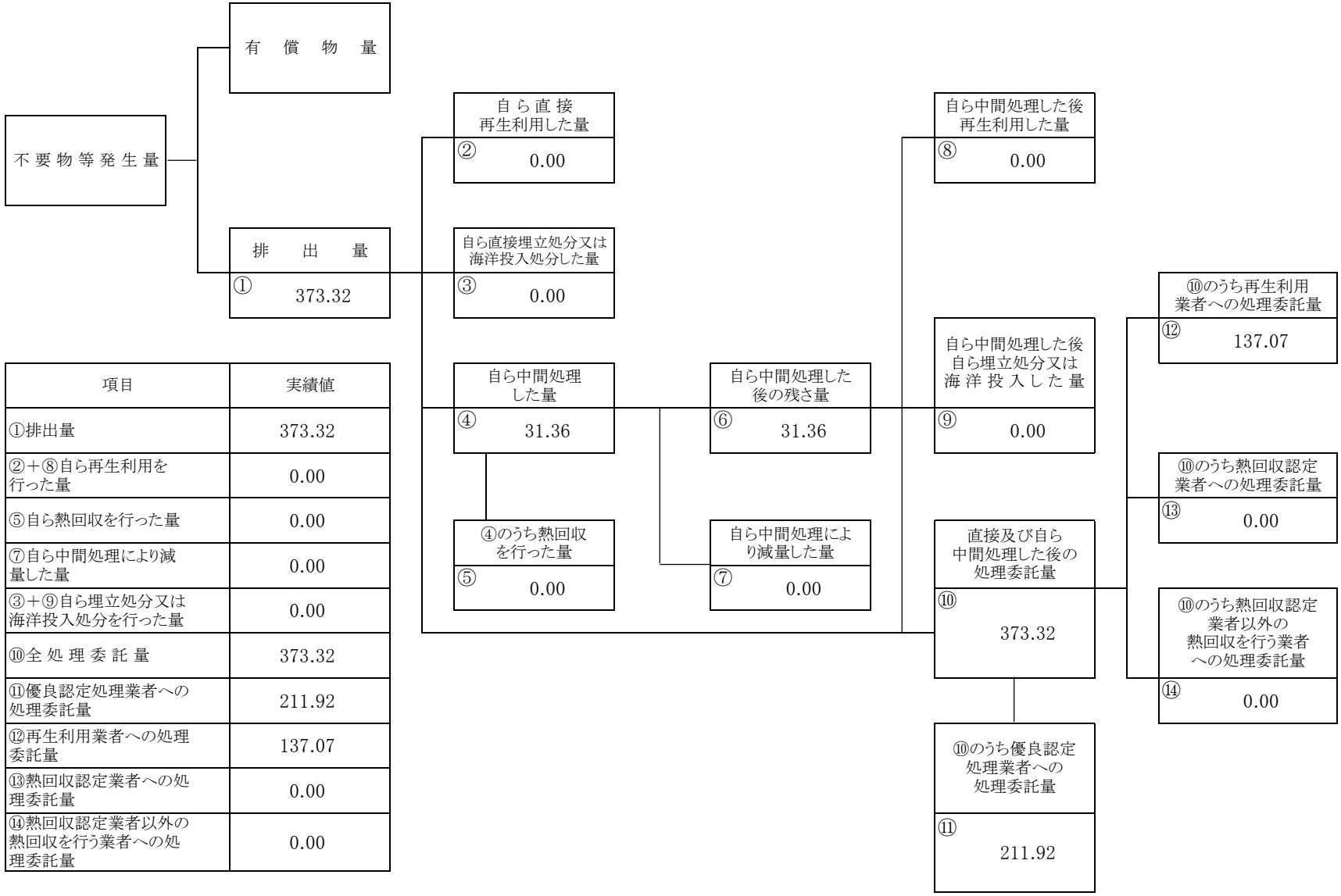
項目	実績値
①排出量	2182.26
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2182.26
⑪優良認定処理業者への処理委託量	996.04
⑫再生利用業者への処理委託量	558.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　木くず　）

さいたま市



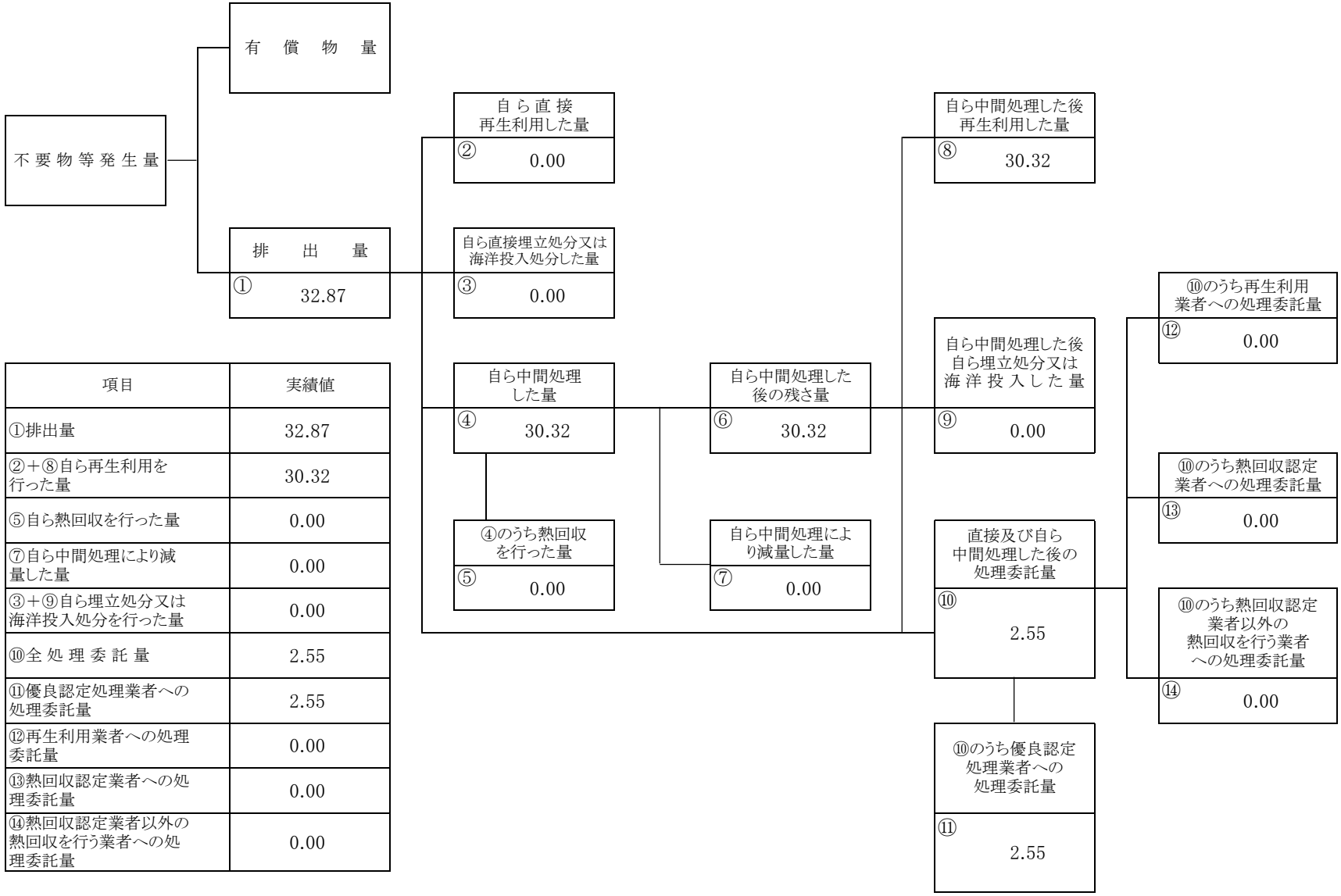
項目	実績値
①排出量	373.32
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	373.32
⑪優良認定処理業者への処理委託量	211.92
⑫再生利用業者への処理委託量	137.07
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　紙くず　）

さいたま市



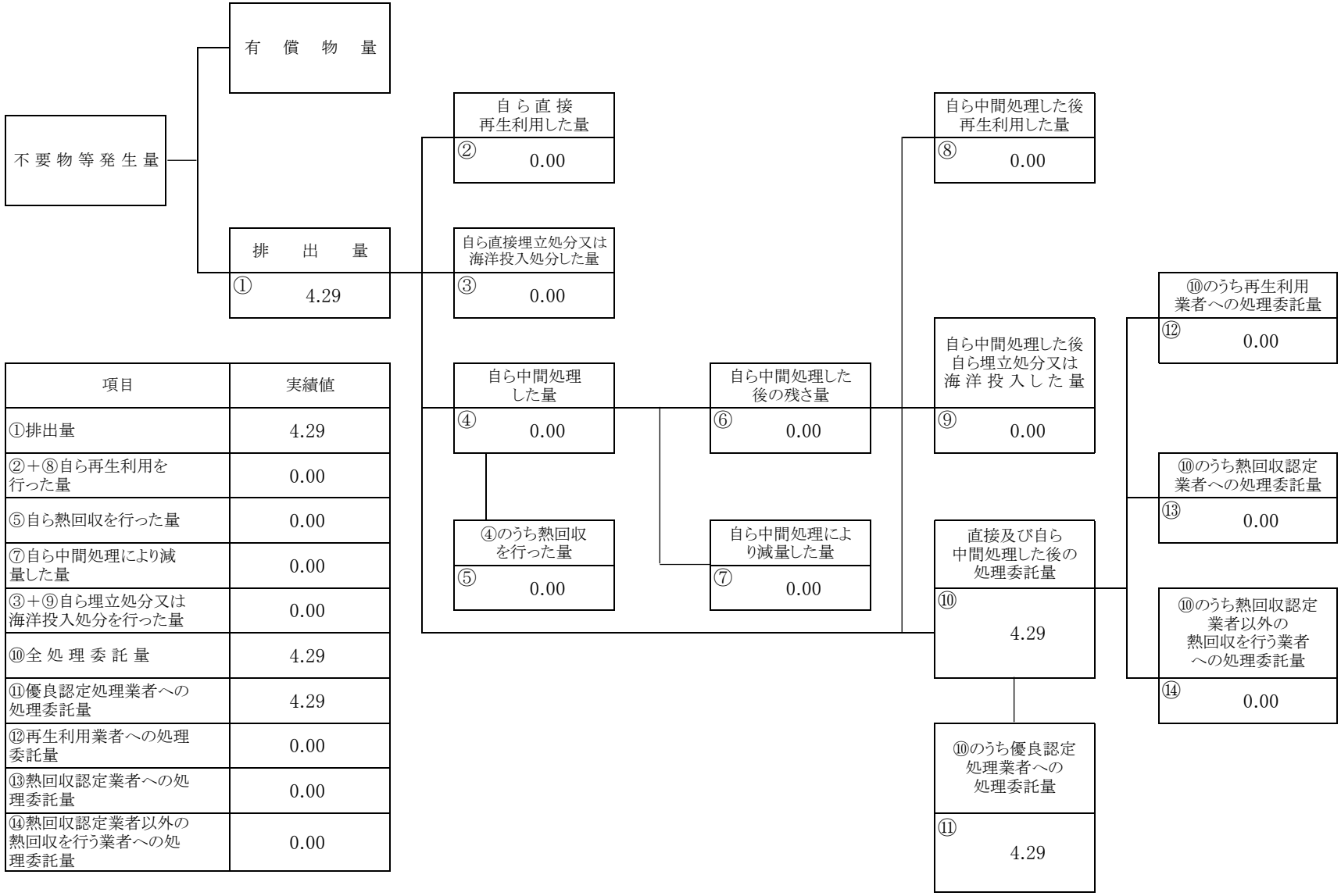
項目	実績値
①排出量	32.87
②＋⑧自ら再生利用を行った量	30.32
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	2.55
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.55
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　繊維くず（天然繊維くず）　）

さいたま市



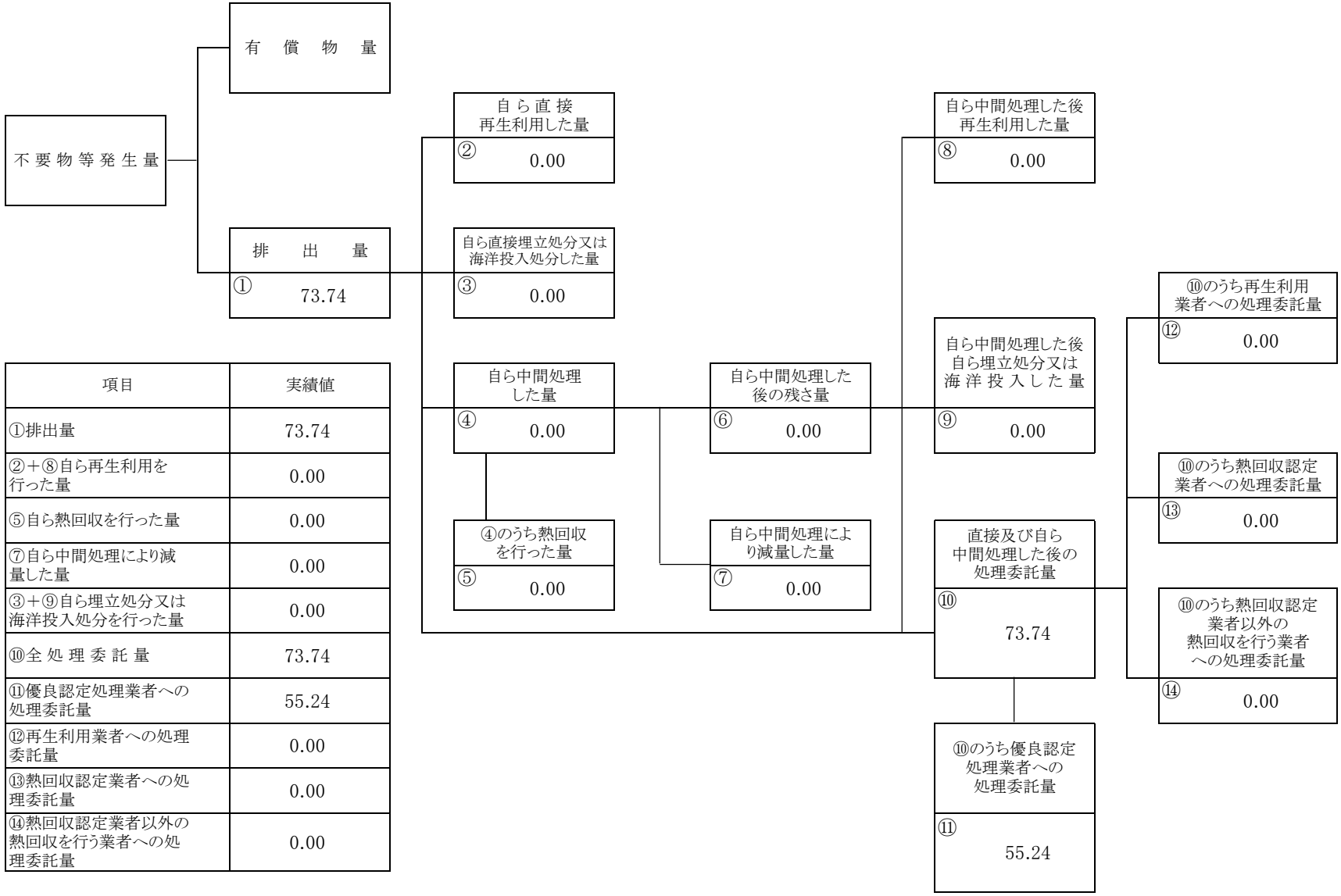
項目	実績値
①排出量	4.29
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.29
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.29
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　建設混合廃棄物　）

さいたま市



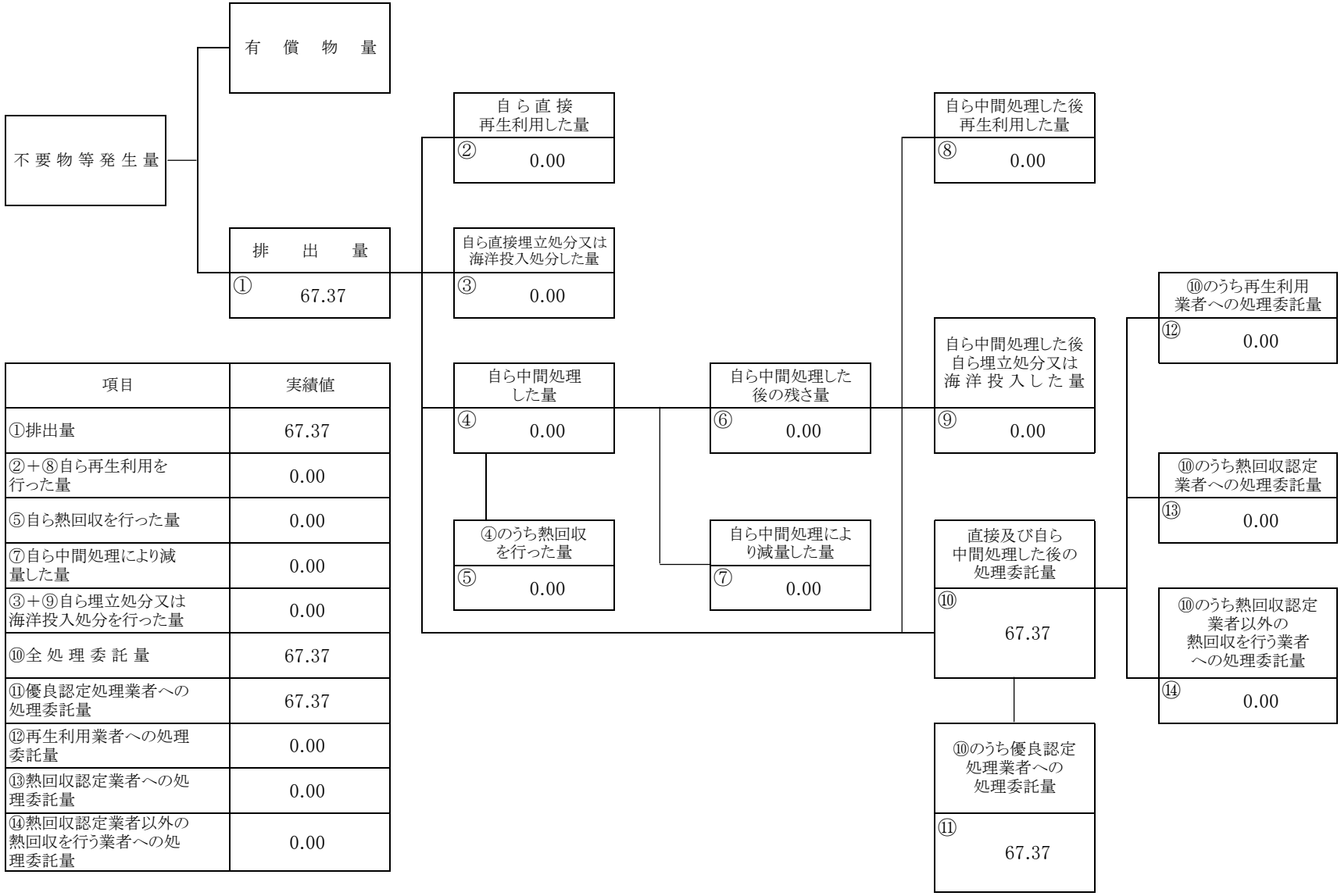
項目	実績値
①排出量	73.74
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	73.74
⑪優良認定処理業者への処理委託量	55.24
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　石綿含有産業廃棄物　）

さいたま市



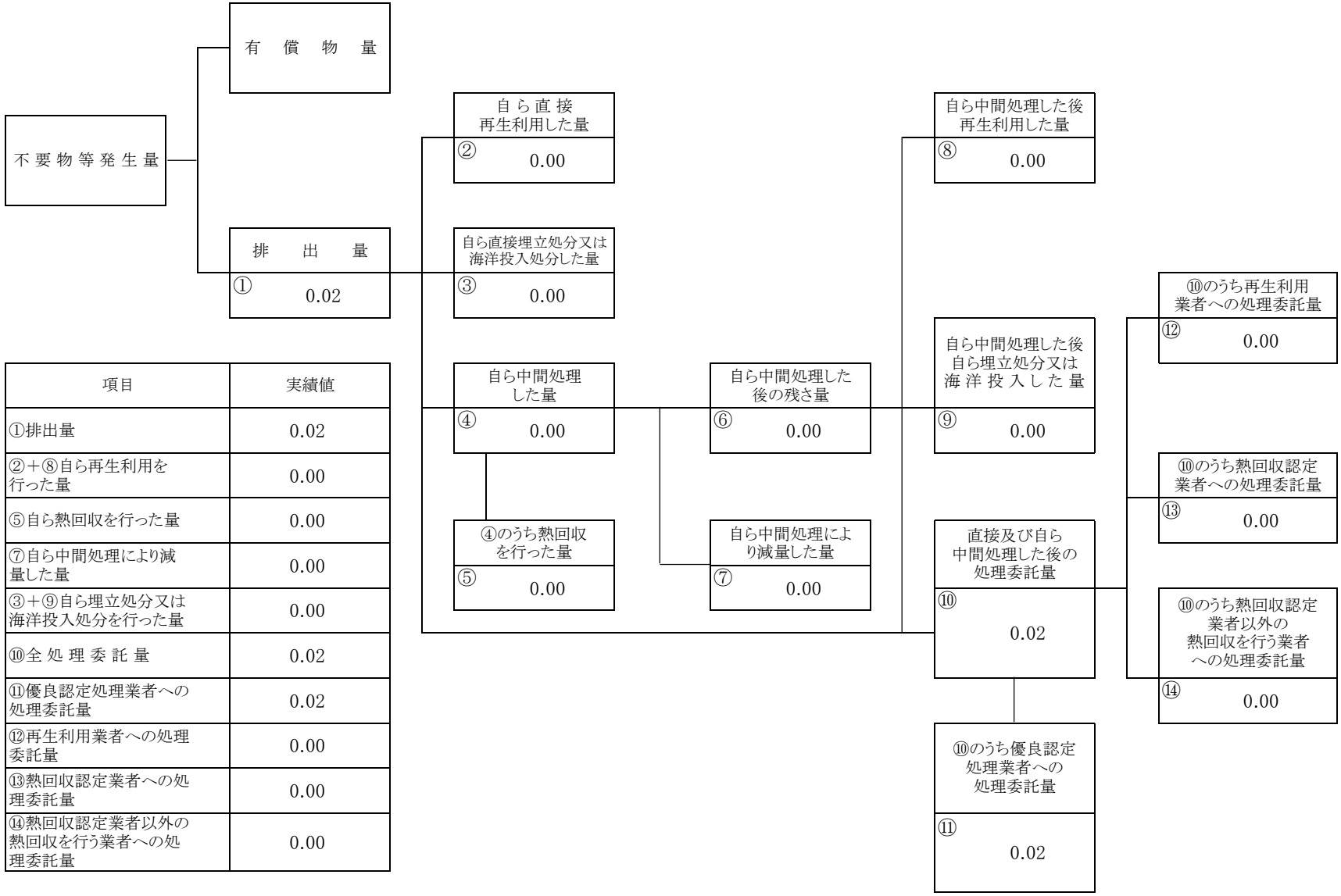
項目	実績値
①排出量	67.37
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	67.37
⑪優良認定処理業者への処理委託量	67.37
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　水銀使用製品産業廃棄物　）

さいたま市



項目	実績値
①排出量	0.02
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。